

科目名	イタリア語オペラ台本研究	授業期間	通 年
担当教員	エルマンノ・アリエンティ	科目 No.	GEN3371
受講対象	全専攻3・4年	単位数	4単位

目 標 ／ 概 要	<p>目標：①イタリア語の台詞を読み、アクセントの位置や韻律を確認し、歌唱におけるリズムや表現との関連を把握する。</p> <p>②原語を自分で訳して意味を十分理解することで、朗読・歌唱における感情表現などの確固たる根拠を形成する。</p> <p>③オペラ台本の通読により全体の流れをつかみ、韻律の知識(①)をもとに歌詞とリズムに隠されたニュアンスを探る。</p> <p>概要：本学の「大学院オペラ」が該当年度に上演するオペラの台本を主な題材として取り上げ、その中で使われているイタリア語の発音・発語練習を丁寧に行いながら、イタリア語が持つ「韻律と律動(リズム)」と「歌詞(詩)と音楽」との関係を知り、加えて意味の解釈を深く行うことによって歌詞の中に隠された細やかなニュアンスを探り出し、旋律やフレーズングの解釈の手掛かりとできるようにしていく。また、題材として取り上げているオペラが創られた当時のイタリアやヨーロッパの社会や文化的・時代的背景にも目を向け、より広い角度からの考察も行う。</p>
-----------------	--

春 学 期	
1	年間を通した授業ガイダンス、および題材となるオペラの紹介
2	イタリア語における「音節」および「音色(ティンプロ)」についての解説および発音・発語演習
3	イタリア語における「母音・半母音」についての解説および発音・発語演習とオペラ台本(題材)の朗読演習
4	イタリア語における「子音・半子音」についての解説および発音・発語演習とオペラ台本の朗読演習
5	イタリア語における「二重・三重母音」「母音分離」についての解説および発音・発語・オペラ台本の朗読演習
6	イタリア語における「母音字省略」「語尾脱落」「語頭音・語中音消失」についての解説および発音・朗読演習
7	イタリア語における「音節区分法」についての解説および発音・発語演習とオペラ台本の朗読演習
8	イタリア語の詩における「詩行(音節・修辭法・アクセント)」についての解説およびオペラ台本の朗読演習
9	イタリア語の詩における「韻律のリズム」についての解説および発語演習とオペラ台本の朗読演習
10	イタリア語の詩における「アクセントの置き場所」についての解説および発語演習とオペラ台本の朗読演習
11	イタリア語の詩における「脚韻」についての解説および発語演習とオペラ台本の朗読演習
12	イタリア語の詩における「詩節」についての解説および発語演習とオペラ台本の朗読演習
13	イタリア古典詩における「詩の形式」についての解説および発語演習とオペラ台本の朗読演習
14	イタリアオペラの「タイプ(セリア・ブッフアなど)」についての解説および発語演習とオペラ台本の朗読演習
15	イタリアオペラの音楽の「ナンバー(アリア・レチタティーヴォなど)」についての解説および発音・朗読演習
秋 学 期	
1	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・発語・朗読演習および解説・指導(登場人物Ⅰ)
2	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・発語・朗読演習および解説・指導(登場人物Ⅱ)
3	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・発語・朗読演習および解説・指導(登場人物Ⅲ)
4	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・発語・朗読演習および解説・指導(登場人物Ⅳ)
5	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・発語・朗読演習および解説・指導(登場人物Ⅴ)
6	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および解説・指導(登場人物Ⅰ)
7	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および解説・指導(登場人物Ⅱ)
8	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および解説・指導(登場人物Ⅲ)
9	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および解説・指導(登場人物Ⅳ)
10	登場人物ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および解説・指導(登場人物Ⅴ)
11	幕ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および時代・文化背景の考察・解説(Ⅰ幕)
12	幕ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および時代・文化背景の考察・解説(Ⅱ幕)
13	幕ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および時代・文化背景の考察・解説(Ⅲ幕)
14	幕ごとの題材オペラ台本の歌詞の内容考察・発音・朗読・歌唱演習および時代・文化背景の考察・解説(Ⅳ幕)
15	全幕を通してのオペラ台本の歌唱演習および解説・指導

準備学習の内容	初回授業までに題材となるオペラの libretto(台本)を準備し、自分で辞書を引いて単語の意味を調べ、朗読および歌唱演習に備えておく。					
履修上の注意	イタリア語についての基礎的な知識を持ち合わせていることが望ましい。					
評価方法	試験	課題(レポート含)	発表	平常点	その他	合計
			30%	70%		100%
	補足	出席および授業への取り組み方や授業内発表により評価を行う。				
教材等	題材となるオペラの libretto(台本) およびピアノ・ヴォーカルスコア					